

令和8年度特別支援学校における新規常勤講師に対する校内研修実施要項

岐阜県教育委員会

1 目的

特別支援学校の新規常勤講師に対し、初任者校内研修に準じた研修を実施し、教職員として必要な資質・能力を身に付け、実践的指導力の向上を図る。

また、研修を受講した新規常勤講師が、研修受講修了後、5年以内に岐阜県の特別支援学校教諭として採用された場合は、初任者研修における校内研修を一部軽減することで、教諭として校務に専念できる時間を確保する。

2 対象

これまでに、教職の経験（他の地方公共団体、他校種、私学を含む）がなく、令和8年度内に本県の特別支援学校に新規採用された常勤講師。及び、令和7年度内に常勤講師として新規採用され、常勤講師研修を未実施で令和8年度も引き続き常勤講師として採用された職員。

3 内容

- (1) 新規常勤講師は、年間を通して、週3時間、年間90時間の、初任者研修に準じた校内研修を受ける。
- (2) 年間90時間の内訳は、一般研修50時間、授業参観40時間とする。
- (3) 一般研修50時間の内容は、「生徒指導」「進路指導」「基本的事項」「特別活動」「その他（特別支援教育、人権教育、学校保健等）」とする。
- (4) 授業参観については、他の特別支援学校、他の校種の学校での参観も含められるものとする。

4 校内の体制

校長、指導教員の役割

- (1) 新規常勤講師の指導教員は、校長が委嘱する。
[初任者研修指導教員等が兼務することができる。]
- (2) 校長は、指導教員の参画を得て、年間の校内研修計画を立案し、研修の運営実施調整を行うとともに、実施後の報告を行う。
- (3) 校長及び指導教員は、研修目的に沿って円滑に行われるよう、若手教員を中心としたメンターチームを組み、組織的に運営する。

メンターチームを中心とした一般教員の役割

- (1) 指導教員を除く他の教員は、年間指導計画に基づいて、指導教員等と連携をとり、新規常勤講師に対して、OJTにより具体的な学習指導や学級・ホームルーム活動等の指導及び助言に当たる。
- (2) 年間指導計画に基づいて、新規常勤講師の授業参観を受け入れる。

新規常勤講師

(1) 授業時間数

新規常勤講師の研修参加に配慮し、以下のように授業担当時数等の軽減を図る。

新規常勤講師の週当たりの授業担当時数の目安

- ・ 小学部担当は23～25時間程度
- ・ 中学部担当は19～21時間程度
- ・ 高等部担当は18時間程度

(2) 研修時間と指導教員・新規常勤講師の関係

校内研修	週研修時間	年間研修時間	指導教員	新規常勤講師
授業参観	1～2時間	40時間	参観の調整	参観
一般研修	1～2時間	50時間	指導（調整）	研修
合計	3時間	90時間		

(3) 時間割編成上の留意事項

新規常勤講師と指導教員の研修時間が重なるように位置付ける。

研修時間については、できる限り週時程に組み入れる。

5 年間指導計画及び指導報告書の提出

提出物	提出期限
指導時間の関連一覧表【様式1】	令和8年4月24日（金）
年間指導計画【様式2】	
指導報告書【様式3】	令和9年3月5日（金）

※【様式1】～【様式3】は、総合教育センターHPからダウンロードして使用する。

※提出物は下記担当者宛にメールで提出する。

- ・ 提出書類提出先について

計画書、報告書等の提出先：

教育研修課 研修第一係 別所 邦彦 bessho-kunihiko@pref.gifu.lg.jp

提出データが複数ある場合はzipファイルで圧縮し、ファイル名は「3桁の公立学校整理番号_学校名_新規常勤講師」とする。

例：100_藪田特別支援学校_新規常勤講師

※ 年度途中で採用となり、研修実施を希望する場合は、教育研修課と協議すること。提出物の提出期限はその際別に指示する。

6 受講後の取扱い

当該研修受講後、5年以内に岐阜県の特別支援学校の教諭として採用された場合、初任者研修校内研修における一般研修50時間、授業参観40時間を上限に減ずることができる。減じた研修時間については、全て授業担当時数に充てる。

令和8年度 新規常勤講師に対する校内研修 【年間計画の例】

月	時数	研修項目（時数）	主な研修内容
4	8	④ 基本的事項 (4)	・教師としての心構え ・学習指導要領 ・学校の教育目標 ・勤務の仕組みや働き方
		⑥ 学級経営 (2)	・学級経営の在り方 ・学級経営案の作成 ・会計について
		① 授業研修 (2)	・授業参観
5	11	④ 基本的事項 (2)	・地域と学校の歴史
		⑥ 学級経営 (2)	・個別の指導計画について ・緊急時の対応
		① 授業研修 (3)	・授業参観
		② 生徒指導 (2)	・児童生徒理解について (メンタリング)
		④ 基本的事項 (2)	・年間の学校行事 ・学校運営組織
6	6	⑥ 特別支援教育 (1)	・多様性への理解
		① 授業研修 (5)	・授業参観 ・〇〇高等学校にて、担当する「コミュニケーション英語Ⅱ」授業を参観
7	8	① 授業研修 (4)	・授業参観
		② 生徒指導 (2)	・生徒指導の在り方
		③ 進路指導 (2)	・キャリア教育とは
8	6	⑤ 特別活動 (2)	・学級活動、ホームルーム活動 ・児童生徒会活動
		⑥ 情報教育 (4)	・情報モラル ・情報機器の活用 ・著作権
9	7	⑥ 学級経営 (2)	・学級担任の役割 ・学校行事の実際
		① 授業研修 (3)	・授業参観
		⑤ 特別活動 (2)	・部活動について

月	時数	研修項目（時数）	主な研修内容
	10	① 授業研修 (4)	・授業参観
		③ 進路指導 (2)	・進路相談 ・現場実習の実際
		⑥ 総合的な探究の時間 (1)	・地域や学校の実態、児童生徒の状態や興味・関心に基づく教育活動の創意工夫の在り方
		⑤ 特別活動 (2)	・体験的な学習について ・交流教育について
11	8	⑥ 特別支援教育 (3)	・教科・領域を合わせた指導 ・自立活動
		① 授業研修 (5)	・重度重複障がいについて ・授業参観
12	8	④ 基本的事項 (2)	・文書事務処理 (メンタリング) ・道徳教育 ・保護者との連携
		① 授業研修 (4)	・授業参観 ・〇〇中学校公表会 ・外国語授業研究会参加
		② 生徒指導 (2)	・教育相談、外部機関連携
1	9	⑥ 特別支援教育 (2)	・アセスメントについて ・就学相談
		① 授業研修 (5)	・授業参観
		③ 進路指導 (2)	・所属部の進路指導
2	7	④ 基本的事項 (2)	・指導要録の記入について
		① 授業研修 (5)	・授業参観
3	3	④ 基本的事項 (2)	・学級経営の評価 (メンタリング)
		⑥ まとめ (1)	・1年間のまとめと反省 ・校長講話
		① 授業研修（授業参観）	40時間
		② 生徒指導	6時間
		③ 進路指導	6時間
		④ 基本的事項	14時間
		⑤ 特別活動	6時間
		⑥ その他(①～⑤以外の内容)	18時間
		・ 授業研修 40時間 + 一般研修 50時間	